CREATIVE

Sound BLASTERAXX

User's Guide

Model No.: SB1380

目次

Sound BlasterAxx

パワフルな SB-Axx1 マルチコアボイス & オーディオプロセッサーを搭載した次世代 Sound Blaster®、Creative Sound BlasterAxx をお買い上げいただきありがとうございます。Sound BlasterAxx SBX 8 は、音楽や映画、ゲームなどのリスニングをお楽しみいただけるスピーカーに加えて、Skype ™などの通話にも対応可能なマイク機能を搭載しています。

- Sound Blaster の先進的なオーディオテクノロジーにスピーカーと高品質マイクを融合
- Windows、Mac® OS のさまざまなオペレーティングシステムにシームレスに対応
- 革新的な音響設計に基づき、1 台のタワー構造内に左右のドライバを搭載したスタックステレオスピーカーデザインを採用
- さまざまなオーディオエンハンスメントのコントロール用ソフトウェア
- SBX Pro Studio テクノロジーによるオーディオエンハンスメント
- 内蔵マイクと組み合わさることによりボイスチャットを改善する CrystalVoice テクノロジー

パッケージコンテンツ

Sound BlasterAxx SBX 8 のパッケージは次のコンポーネントが同梱されています。

- Sound BlasterAxx SBX 8
- クイックスタートガイド
- マイクロ USB ケーブル

必要なシステム環境

パソコン、Mac で使用する場合

- Intel Core ™ 2 Duo プロセッサ 2.2 GHz、AMD Athlon 64x2 Dual Core、または同等のプロセッサ
- Microsoft® Windows 7 64-bit、Windows 7 32-bit、または
- Microsoft Windows Vista 64-bit、Windows Vista 32-bit、または Macintosh OS 10.5 以上
- 電源供給可能な USB 2.0 ポート
- インターネットに接続できるパソコン環境（ソフトウェアアップデートやオンラインユーザー登録用やサポートを受ける際に必要）

注：
・インターネットに接続するための費用は、お客様負担となります。
・「必要なシステム構成」を満たしている場合でも、すべて機器での動作や機能を保証するものではありません。

ユーザー登録

製品のユーザー登録を行うことにより、製品や技術サポートなどのサービスなど様々な特典を受けることができます。製品の登録は、インストール中または www.creative.com/register から行うことができます。なおハードウェア保証の保証規定は、ユーザー登録の有無に関わらず適用されます。

その他のヘルプ

Sound Blasterの最新のニュースおよび製品については、**http://jp.creative.com** をご覧ください。このサイトは購入、技術的ヘルプ、最新のソフトウェアアップデートに関する情報も掲載しています。

Creative ソフトウェアオートアップデートを使用する

ウェブベースの Creative ソフトウェアオートアップデートシステムを使うと、Creative 製品の更新されたデバイスドライバの検索、ダウンロード、そしてインストールといった一連の作業が簡略化されます。

インターネットを経由して、Creative ソフトウェアオートアップデートに接続すると、お使いのコンピュータのオペレーティングシステム（OS）、言語、およびお使いの Creative 製品をオンラインで判別します。

分析が終了すると、お使いの製品に対応したソフトウェアおよびデバイスドライバの更新情報が表示されます。インストールするファイルを選択すると、ダウンロードとパソコンへのインストールがシームレスに行われます。Creative ソフトウェアオートアップデートで提供されるファイルは、ご使用のパソコンの環境に合わせてカスタマイズされているため、通常のアップデートファイルよりもサイズが小さく、ダウンロードに要する時間も短縮されます。

Creative ソフトウェアオートアップデートの詳細については、**http://jp.creative.com/support** を参照してください。

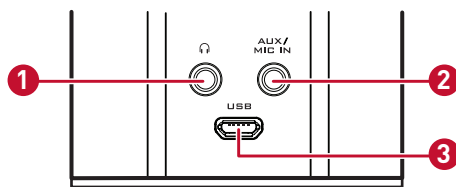
注：

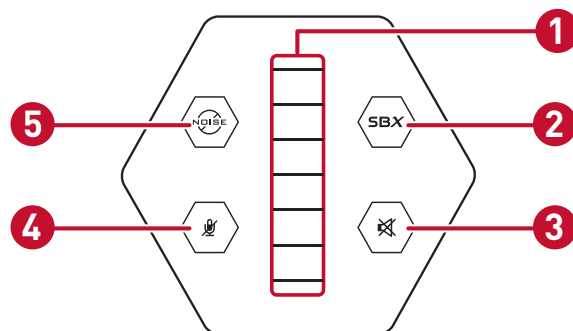
・Creative ソフトウェアオートアップデートを初めて使用する場合には、システムの分析を行うのに必要なブラウザコンポーネントのダウンロードの許可を求めるメッセージが表示される場合があります。内容が Creative Labs, Inc. によって署名されたものであることを確認し、［はい］ボタンをクリックしてください。

・お使いの Creative ソフトウェアオートアップデートをお使いになる前に、対象となる製品がコンピュータにきちんと接続され、正常に認識されていることを確認してください。

Sound BlasterAxx について

Sound BlasterAxx SBX 8 の背面は入出力端子が装備されており、お使いの用途に合わせてさまざまなデバイスを接続できます。また Sound BlasterAxx の一番上にはタッチスクリーンインターフェースを装備、音量やエフェクトのオン / オフなど基本的なコントロールが可能です。本章では、これら Sound BlasterAxx の各部について詳しく解説しています。

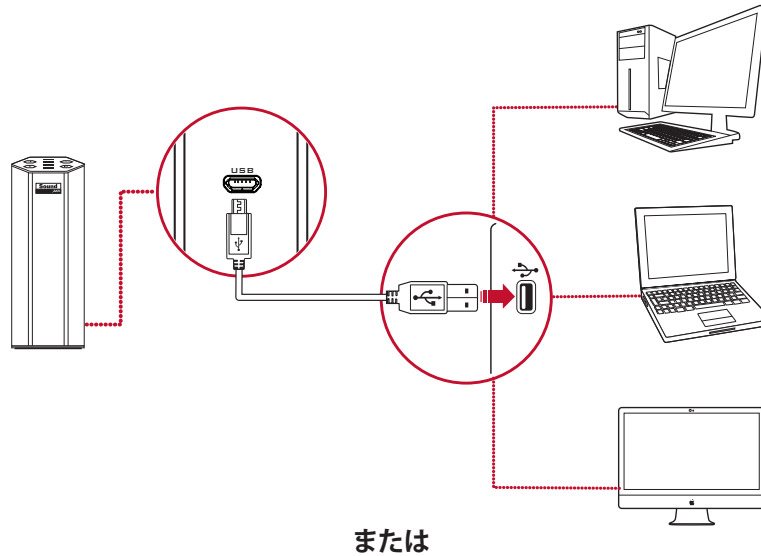
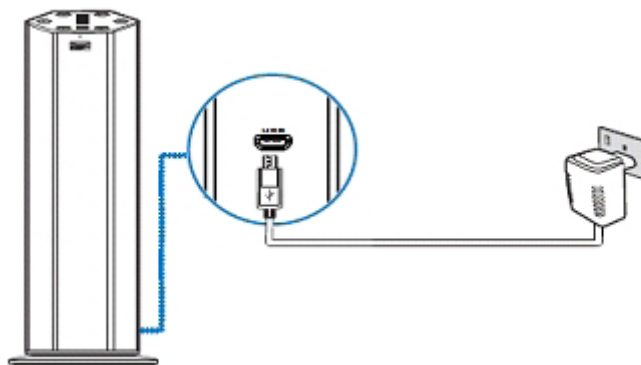
接続 - 入力 / 出力端子

	端子	説明
1	ヘッドホン出力端子	3.50mm（1/8 インチ）プラグのステレオヘッドホンを接続します。ヘッドホンを接続した場合、スピーカー出力は自動的にミュートされますのでプライベートリスニングに最適です。
2	Aux / マイク入力端子	MP3 プレーヤーなどのラインレベルソース、または 3.50mm（1/8 インチ）のエレクトレットコンデンサーマイクを接続します。 **メモ：** *Windows の場合、［**コントロールパネル**］ > ［**サウンド**］ > ［**録音**］タブで［**AUX**］と［**MIC**］の入力を手動で切り替えることができます。Mac の場合は［**システム環境設定**］ > ［**サウンド**］ > ［**入力**］タブで Aux またはマイク入力を選択可能です。*
3	マイクロ USB ポート	パソコン、Mac の USB ポートに接続します。

タッチコントロールパネルのコントロールボタン

	ボタン / スライダー	説明
1	マスターボリューム	7 段階に区切られたスライダーでスピーカーのボリュームを示します。スライダーを指でなぞることで音量を上下することができ、上げると音量が高くなり、下げると低くなります。 マスターボリュームスライダーは電源状態も表示します。マスターボリュームスライダーが点灯していると SBX 8 の電源はオンで、消えていると電源はオフです。本製品は、USB でコンピュータに接続されると自動的に電源がオンになります。
2	[SBX]	SBX Pro Studio のオーディオエンハンスメントのオン / オフを切り替えます。SBX Pro Studio 機能がオンの時に点灯し、オフで消灯します。
3	[スピーカーミュート]	スピーカーがミュートになっているかどうかを示します。ミュートオフ時には LED は白色に薄く点灯し、スピーカー出力がミュートされていると赤く点灯します。
4	[マイク ミュート]	マイクがミュートになっているかどうかを示します。ミュートオフ時には LED は白色に薄く点灯し、マイク入力がミュートされていると赤く点灯します。
5	[Noise Reduction]	周囲の騒音を低減する Noise Reduction 機能のオン / オフを切り替えます。Noise Reduction がオンの時に点灯し、オフで消灯します。

Sound BlasterAxx のセットアップ

Sound BlasterAxx は USB バスパワーで動作。また 5V/1A 出力の別売の Creative USB パワーアダプターやモバイルバッテリーなどでも動作します。

注：
Sound BlasterAxx は電源として、コンピュータ、Creative USB パワーアダプター（別売）あるいは外部 USB バッテリーパック（別売）などに接続する必要があります。Creative 製 別売 USB パワーアダプター以外での利用は保証対象外となります。

コンピュータに接続する

Creative USB パワーアダプター（別売）で壁コンセントに接続する

注：
- *Creative 製 別売 USB パワーアダプター以外での利用は保証対象外となります。*
- *パソコン、Mac に接続していない状態では、マイク入力は使用できず AUX 入力のみ利用可能です。*

ソフトウェアを使用する - Sound BlasterAxx コントロールパネル（パソコン、Mac）

Sound BlasterAxx コントロールパネルは、パソコン、Mac 上で Sound BlasterAxx のオーディオと音声の様々なエンハンスメントをコントロールできるように開発されました。以下のオペレーティングシステムに対応します。

- Windows 7、Windows Vista
- Mac

Sound BlasterAxx はソフトウェアをインストールしなくても使用することができますが、Sound BlasterAxx の機能をフル活用するためには、お使いのコンピュータにこのソフトウェアをダウンロードしてインストールすることをお薦めします。

この Sound BlasterAxx コントロールパネルには Sound BlasterAxx の基本機能を管理するための様々な設定、ならびにオーディオを向上させるために実行できるエンハンスメント設定がいくつか含まれています。インターフェースの左にあるメニューコラムから、これらのエンハンスメントの各設定画面に移動できます。またこの Sound BlasterAxx コントロールパネル上での変更はすぐに Sound BlasterAxx 本体へと送られ保持されますので、例えばパソコン、Mac から取り外して使用する際にも同じ設定を使用することができます。

注：
お使いのモデルやソフトウェアのバージョンにより、ユーザーインターフェースのカラーテーマが異なる場合があります。またここに掲載しているソフトウェア画面は開発中の物で、実際の画面とは異なる場合があります。

注：
Sound BlasterAxx コントロールパネルを Sound BlasterAxx と組み合わせて使用する場合、パソコン、Mac と Sound BlasterAxx が USB で接続されている必要があります。USB 接続に関しては 7 ページの「Sound BlasterAxx のセットアップ」を参照してください。

インストールとアンインストール - Windows

Windows OS の場合、次のアプリケーションがソフトウェアパッケージに含まれています。

- Sound BlasterAxx コントロールパネル
- Creative ソフトウェアオートアップデート
- Creative システムインフォメーション
- プロダクトユーザーレジストレーション
- Creative ALchemy

また、次のボーナスアプリケーションをクリエイティブメディア ホームページ **http://jp.creative.com/support/downloads/** からダウンロードできます。

- Creative WaveStudio
- Creative Media Toolbox（トライアル版）

インストール

注：
インストールの前に Sound BlasterAxx がパソコンに接続されていることを確認してください。

1. お使いのウェブブラウザを起動して、**http://jp.creative.com/support/downloads/** にアクセスし、お使いの Windows OS 用のソフトウェアパッケージを指定します。
2. ソフトウェアパッケージをデスクトップなど分かりやすい場所にダウンロードします。
3. ソフトウェアパッケージをダブルクリックすることでインストーラーが起動します。
4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。
5. メッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。
6. ［**スタート**］ > ［**すべてのプログラム**］ > ［**Creative**］ > ［**Sound BlasterAxx**］ > ［**Sound BlasterAxx コントロールパネル**］の順にクリックして、アプリケーションを起動します。

アンインストール

アップグレード時などアンインストールが必要な場合は、次の手順を実行してください。

1. ［**スタート**］ > ［**コントロールパネル**］ > ［**プログラムのアンインストール**］（カテゴリ表示の場合） / ［**プログラムと機能**］（アイコン表示の場合）の順にクリックします。
2. **[Sound BlasterAxx]** エントリを選択します。
3. ［**アンインストール**］ボタンをクリックします。［**ユーザーアカウント制御**］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］ボタンをクリックします。
4. ［**はい**］ボタンをクリックします。
5. メッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

デフォルトのオーディオデバイスへの設定

この設定は Sound BlasterAxx コントロールパネルをインストールすることで自動的に設定されます。サウンドが正しく入出力できない場合は、次の手順で設定してください。

1. ［**スタート**］ > ［**コントロールパネル**］ > ［**ハードウェアとサウンド**］（カテゴリ表示の場合） > ［**サウンド**］の順に開きます。
2. ［**再生**］タブで［**Sound BlasterAxx SBX 8**］の［**スピーカー**］を規定のデバイスに設定します。
3. ［**録音**］タブで、［**Sound BlasterAxx SBX 8**］の使用する入力を規定のデバイスに設定します。

インストールとアンインストール - Mac

Mac OS の場合、次のアプリケーションがソフトウェアバンドルに含まれています。

- Sound BlasterAxx コントロールパネル
- Creative Product Registration
- Creative Uninstaller

インストール

注：
インストールの前に Sound BlasterAxx がパソコンに接続されていることを確認してください。

1. お使いのウェブブラウザを起動して、**http://jp.creative.com/support/downloads/** にアクセスし、Mac OS 用のソフトウェアパッケージを指定します。
2. ソフトウェアパッケージをデスクトップなど分かりやすい場所にダウンロードします。
3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。
4. 解凍した DMG ファイルをダブルクリックします。
5. [**SBX_INSTALL**] アイコンをダブルクリックして、表示される画面の指示に従い、インストールを実行します。
6. メッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。
7. [**アプリケーション**] > [**Creative**] > [**Sound BlasterAxx**] フォルダから、[**Sound BlasterAxx コントロールパネル**] を起動します。

アンインストール

アップグレード時などアンインストールが必要な場合は、次の手順を実行してください。

1. [**アプリケーション**] > [**Creative**] > [**Creative Uninstaller**] の順にクリックします。
2. アンインストールする Creative 製品を選択します。
3. [**アンインストール**] ボタンをクリックします。
4. 画面の指示に従います。

デフォルトのオーディオデバイスの設定

1. [**システム環境設定**] を開き、[**サウンド**] をクリックします。
2. [**出力**] タブをクリックし、[**Sound BlasterAxx SBX 8**] を選択します。
3. [**入力**] タブをクリックし、[**Sound BlasterAxx SBX 8**] の使用する入力端子を選択します。

Sound BlasterAxx コントロールパネルを使用する

本章では、Sound BlasterAxx のさまざまな機能をコントロールするための Sound BlasterAxx コントロールパネルの使い方について説明します。以下の例とスクリーンショットでは、Windows 版を使用しています。その他のオペレーティングシステムの UI は若干異なる場合があります。

プロファイルの管理

Sound BlasterAxx コントロールパネルはゲーム、映画、音楽、音声通話などさまざまなニーズに合わせた設定が「プロファイル」としてあらかじめ収録されています。これらのプロファイルは Creative のオーディオエンジニアがゲームや映画などそれぞれの目的に合わせて様々なパラメータを調整したものがプリセットされています。

1. 左のメニューから、オーディオ出力音に対するプロファイルを選択する場合には [**スピーカー設定**] を、またマイク入力音声に対するプロファイルを選択する場合には [**マイク設定**] を選択します。
2. プリセットされた中から使用したいプロファイルを選択します。

注：
プロファイルを選択すると同時に Sound BlasterAxx 本体の設定もリアルタイムで切り替わります。

プロファイル設定の変更

各プロファイルのプリセット設定を修正することもできます。

1. 使用するプロファイルを選択します。
2. オーディオ出力のプロファイルを変更する場合には [**スピーカー設定**] > [**SBX Pro Studio**]、および [**スピーカー設定**] > [**イコライザー**] を選択することで、現在適用されているスピーカープロファイルの設定を編集できます。
3. オーディオ入力のプロファイルを変更する場合には [**マイク設定**] > [**CrystalVoice**] を選択することで、現在適用されているマイクプロファイルの設定を編集できます。
4. [**スピーカー設定**] または [**マイク設定**] をクリックすることで、プロファイルのインターフェースに戻ります。ステップ 2 ～ 3 で実行された変更はすべて、ここに表示されます。
5. [**保存**] をクリックすることで変更が保存されます。または、[**リセット**] をクリックしてプロファイルをプリセット設定に戻します。

注：
SBX Pro Studio の初期プロファイルである「SBX デフォルト」は変更可能ですが保存はできません。

スピーカーボリュームを調節する

画面左下にマスターボリュームスライダーが装備されています。スライダーをドラッグすることでマスターボリュームを調節できます。スライダーの左にあるスピーカーアイコンをクリックすると、スピーカーをミュートまたはミュート解除できます。

ミキサーの設定

マイクやスピーカーを含む個々の入出力の音量や録音レベルを調節するミキサーもソフトウェアから使用できます。メニューから[**ミキサー**]をクリックし、スライダーを使用して各項目の音量およびミュートオン / オフを変更します。

プレイバック項目

- **スピーカー** - 全体のボリュームです。画面左下のマスターボリュームスライダーと連動しています。
- **内蔵マイク** – Sound BlasterAxx に内蔵されているマイクの音声の再生音量を調節します。
- **マイク** - 背面の Aux 入力 / マイク入力に接続しているエレクトレットコンデンサーマイクの音声の再生音量を調節します。
- **AUX** - 背面の Aux 入力 / マイク入力に接続しているラインレベルソースからのオーディオ再生音量を調節します。

REC 項目

- **Wave/AUX/ マイクミックス（Windows パソコンのみ）** - パソコン内で再生されている音楽と内蔵マイクまたは Aux 入力 / マイク入力端子からのオーディオをミックスして録音する際の全体のレベルを調節します。ミックスされるそれぞれの音量は REC 項目内の[内蔵マイク]、[マイク] / [AUX]項目のレベルで調節します。
- **再生リダイレクト** - パソコン内で再生されている音楽と内蔵マイクまたは Aux 入力 / マイク入力からのオーディオをミックスして録音する際の全体のレベルを調節します。ミックスされるそれぞれの音量はプレイバック項目内の[内蔵マイク]、[マイク] / [AUX]項目のレベルで調節します。
- **内蔵マイク** – Sound BlasterAxx に内蔵されているマイクの音声を録音する際の録音レベルを調節します。
- **マイク** - 背面の Aux 入力 / マイク入力端子に接続しているエレクトレットコンデンサーマイクの音声を録音する際の録音レベルを調節します。
- **AUX** - 背面の Aux 入力 / マイク入力端子に接続しているラインレベルソースからのオーディオを録音する際の録音レベルを調節します。

注：
・Windows パソコンでは、[**スタート**] > [**コントロールパネル**] > [**ハードウェアとサウンド**]（カテゴリ表示の場合）> [**サウンド**]の順に開き、[**録音**]タブで[既定の録音デバイス]に設定された録音ソースのオーディオのみが実際に録音用アプリケーションへ流れます。
・Mac では[**システム環境設定**] > [**サウンド**] > [**入力**]タブで選択された録音ソースのみがこの画面で調節可能です。

オーディオエンハンスメント - SBX Pro Studio

SBX Pro Studio 機能は Sound BlasterAxx のオーディオ出力を様々にエンハンスメントします。SBX Pro Studio の各機能を設定するには、メニューから[**スピーカー設定**] > [**SBX Pro Studio**]をクリックします。

SBX Pro Studio の各機能のオン / オフやエンハンスメントのレベルを調節します。

1. SBX Pro Studio の各機能のチェックボックスでそれぞれ個別にオン / オフします。
2. 各機能のスライダーをドラッグして各エンハンスメントのレベルを調節します。

注：
Sound BlasterAxx 上部に搭載されているタッチコントロールパネルを使って SBX Pro Studio をオン / オフを切り替えることもできます。この場合、SBX Pro Studio の各機能個別ではなく全体に対してのオン / オフになります。

SBX Pro Studio のオーディオ出力向けエンハンスメントにより、音楽鑑賞や映画鑑賞、ゲームなどのエンターテインメント体験を次のレベルに引き上げることができます。

- **SBX Surround** - バーチャルサラウンドサウンドチャネルを作り出すことによって、音の自然な深みと広がりを向上させて臨場感のある再生を実現します。
- **SBX Crystalizer** - MP3 等の音楽を圧縮した際に失われる自然なダイナミックレンジを適切に最適化。これによりアーティストが意図したサウンド表現を最高レベルの品質でリスニングすることが可能です。映画やゲームであれば、そのリアル感がさらに向上します。
- **SBX Bass** - 欠如した低周波トーンを加えることにより、さらなるインパクトを与え、エンターテインメント体験を向上します。
- **SBX Smart Volume** - 音楽や映画、ゲームにおいて急激な音量レベルの変化を測定し、自動的に最適なレベルへ調整します。また Night Mode ™は爆発音などのインパクトを下げることで、夜間などでも他の人を驚かすことなくエンターテインメントを楽しめます。
- **SBX Dialog Plus** - 映画やゲームの音声パートの出力を向上して会話をクリアに表現します。BGM や音響効果があっても会話をクリアに聴き取ることが可能です。

イコライザー設定

イコライザーはさまざまなオーディオ周波数をフィルタリングし、オーディオ出力のトーンを制御する機能です。Sound BlasterAxx Audio コントロールパネルには様々なイコライザー設定がプリセットとして用意されており、多様なオーディオトーンを簡単に選択できます。またイコライザープリセットを手動で変更または追加することもできます。

1. メニューから[**イコライザー**]を選択します。
2. [**EQ**]のチェックを入れることでイコライザーが有効になります。
3. ドロップダウンメニューから、使用するプリセットを選択します。
4. 各周波数帯スライダーを調節して希望のレベルに設定します。
5. 必要であれば、[**保存**]をクリックしてプリセットへの変更を保存します。

ユーザーが作成したイコライザープリセットを削除することもできます。その場合は、ドロップダウンメニューから削除するプリセットを選択し、[**削除**]をクリックします。

注：
削除できるイコライザープリセットはご自分で作成したもののみです。

マイクのエンハンスメント - CrystalVoice

Sound BlasterAxx SBX 8 は高品質マイクを内蔵、さらに CrystalVoice テクノロジーと組み合わさることにより、VoIP アプリケーションを使用したビデオ / 音声通話において周囲の騒音を低減しつつクリアな音声伝達を実現します。

CrystalVoice テクノロジーの各機能を設定するには、メニューから [**マイク設定**] > [**CrystalVoice**] をクリックします。

1. **Windows パソコンの場合：** Sound BlasterAxx の [**内蔵マイク**]、もしくは接続している外部マイク ([**マイク**]) を録音デバイスとして選択し、スライダーを使ってマイクのボリュームを調節します。
2. **Mac の場合：** [**システム環境設定**] > [**サウンド**] > [**入力**] で設定した録音ソースが表示されますので、スライダーを使ってボリュームを調節します。
3. CrystalVoice の各機能のチェックボックスでそれぞれ個別にオン / オフします。
4. [**テスト**] をクリックすることで、マイクに喋った音声に CrystalVoice の効果が適用されて試聴できます。必要があれば、テストしながら調節してください。

CrystalVoice テクノロジーのマイク入力音声向けエンハンスメントにより、ハンズフリー通話やビデオ通話においてボイスコミュニケーションを拡張します。

- **CrystalVoice Acoustic Echo Cancellation** - ハンズフリー通話などスピーカー使用時に発生しやすい、エコー (ハウリング) を低減します。
- **CrystalVoice Noise Reduction** - マイクから混入するバックグラウンドノイズを継続的かつ効果的に低減します。
- **CrystalVoice Smart Volume** - ボイス音量を自動的にノーマライズすることで、ある一定の距離であれば、マイクからの距離を気にすることなく会話を行うことができます。
- **CrystalVoice FX ™** - 面白いアクセントを作り出したり、男声から女声やモンスターボイス、ロボットボイスなど完全に別人になったりと、様々な効果で話し手の音声を別のキャラクターへとボイスチェンジが可能です。

スピーカー / ヘッドホンの設定を表示する

Sound BlasterAxx にはヘッドホン端子も装備されているため、お気に入りのヘッドホンを Sound BlasterAxx に接続してプライベートリスニングをお楽しみいただけます。ヘッドホンを Sound BlasterAxx に接続した場合、スピーカー出力は自動的にミュートになります。ソフトウェアから、オーディオがスピーカーまたはヘッドホンのいずれから再生されているかを確認できます。

1. メニューから [**スピーカー設定**] > [**スピーカー / ヘッドホン**] をクリックすることで現在の設定が表示されます。
2. [**テスト**] をクリックして、現在の設定通りにサンプルオーディオクリップが再生されるかを確認します。

他の高度な機能を使用する

その他、Sound BlasterAxx コントロールパネルは次のような機能も提供します。

- [**SBX オーディオ設定**] オプション

SBX オーディオ設定

この機能は現在選択されている SBX Pro Studio 機能およびイコライザー設定を Sound BlasterAxx 本体へ書き出し (エクスポート)、または書き出した設定を読み込み (インポート) します。

Sound BlasterAxx を使用する

MP3 プレーヤーからお気に入りの楽曲を聞く、PC ゲームをしながらリアルなオーディオを楽しむ、マイクやヘッドセットを追加せずにクリアなビデオ / 音声通話を行う、などいずれの場合でも、Sound BlasterAxx は理想的なソリューションを提供します。

Sound BlasterAxx は次のような多様なシナリオで使用できます。

- **Sound BlasterAxx でエンターテインメントを楽しむ**
  USB ケーブルを使ってコンピュータに、または Aux 入力端子を使って MP3 プレーヤー等のポータブルデバイスを接続することで、SBX Pro Studio 機能で迫力あるサウンドで映画や音楽、ゲームを楽しめます。

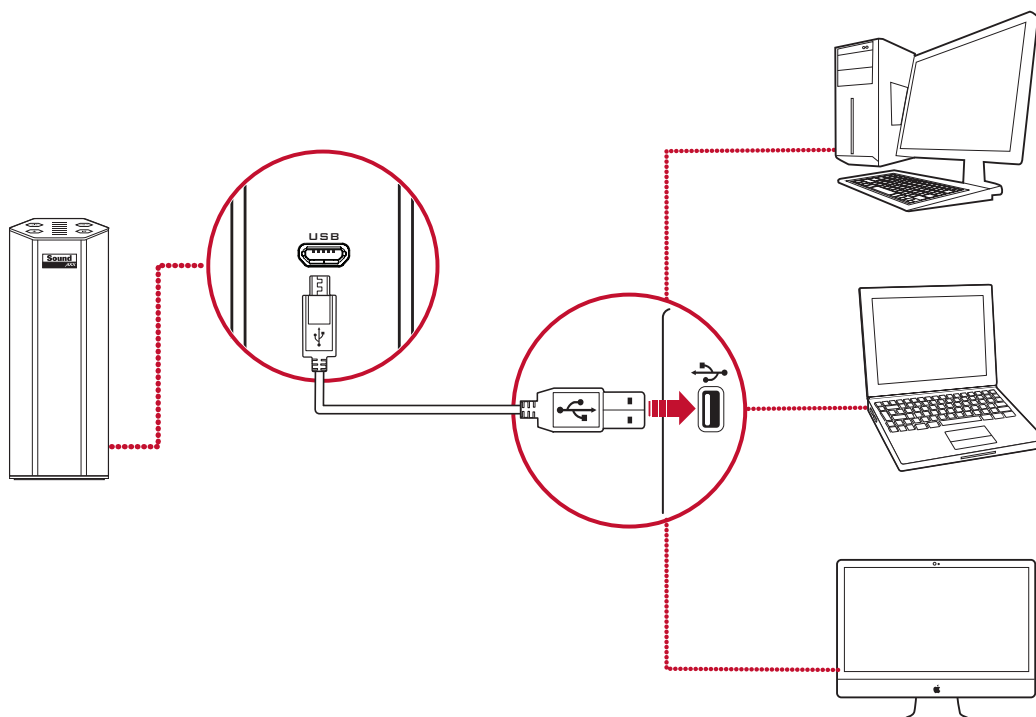
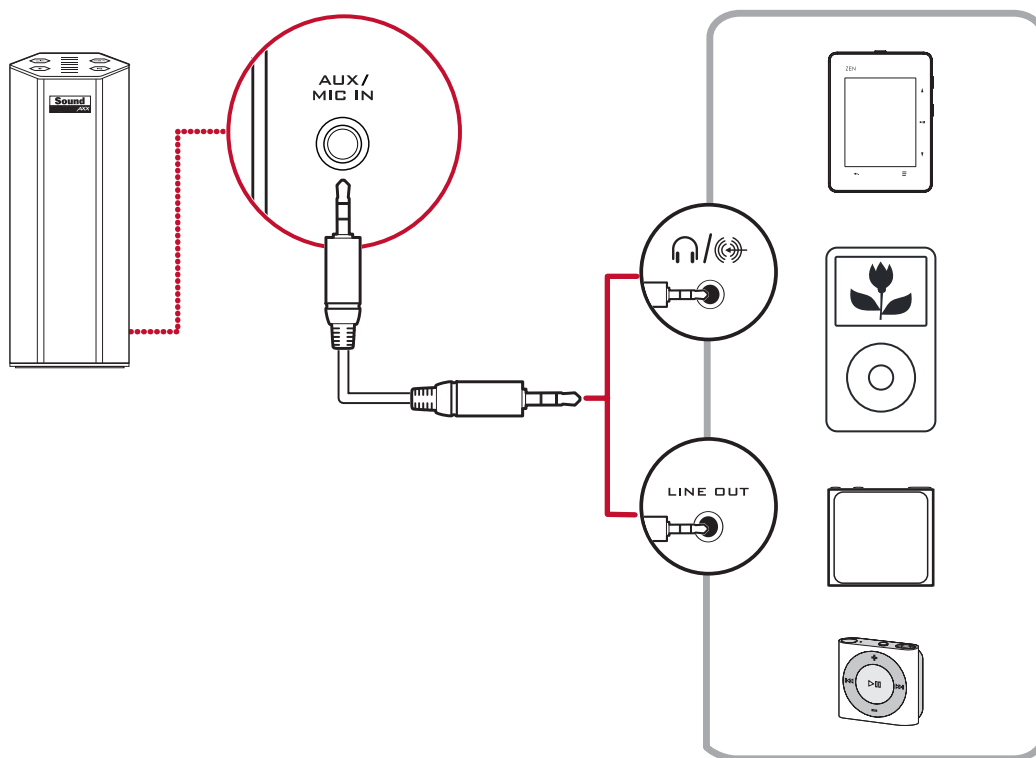
- **パソコン、Mac でのビデオ / 音声通話、カラオケ、録音で Sound BlasterAxx を使用する**
  高品質マイクと CrystalVoice テクノロジーにより、VoIP アプリケーションのビデオ / 音声通話でさらにクリアな通話が可能です。また新機能「WAVE/AUX/ マイクミックス」機能（Windows のみ）、「再生リダイレクト（ステレオミックス）」機能（Windows パソコン、Mac 両対応）によりパソコンで再生中の音楽に合わせて外部マイクなどの音声をミックス可能。カラオケスタイルのシステムがコンピュータで再現できます。

- **ヘッドホンまたはヘッドセットを接続する**
  必要な場合は、ヘッドホンまたはヘッドセットを Sound BlasterAxx のヘッドホン出力端子に接続できます。

Sound BlasterAxx でエンターテインメントを楽しむ

Sound BlasterAxx はマイクロ USB 端子、Aux 入力端子を搭載、様々なデバイスと接続することができます。このセクションでは、接続について説明します。

注：
Sound BlasterAxx は電源として、コンピュータ、Creative USB パワーアダプター（別売）あるいは外部 USB バッテリーパック（別売）などに接続する必要があります。Creative 製 別売 USB パワーアダプター以外での利用は保証対象外となります。

パソコン / Mac を接続する

MP3 プレーヤー /CD プレーヤー、その他のポータブルデバイスを接続する

パソコン、Mac でのビデオ / 音声通話、カラオケ、録音で Sound BlasterAxx を使用する

さまざまな VoIP アプリケーションを通して行うビデオ通話やボイスチャットは、Sound BlasterAxx に搭載されている高品質マイクにより、さらに手軽にお使いいただけます。さらに CrystalVoice テクノロジーを搭載した Sound BlasterAxx は、周囲のノイズを低減し、マイクからの遠近に関わらず非常にクリアな音声通話を実現、また音声を異なるキャラクターに変更するなど、ボイスチャットをさらにお楽しみいただけます。

新機能「Wave/AUX/ マイクミックス」機能で、自分の声をモニター（スピーカー出力）することなくパソコン上で再生している音楽に合わせてパソコンで録音したり、Skype などのインスタントメッセージツールで会話相手に聞かせることも可能です（Windows パソコンのみ）。

また通常の「再生リダイレクト（ステレオミックス）」機能にも対応（Windows パソコン、Mac 両対応）。Sound BlasterAxx に外部マイクを接続すれば、音声をモニタリングしながらのミックス機能をパソコン、Mac で楽しめます。これらの機能を使用するには、次の手順を実行してください。

Windows パソコンの場合

1. [**スタート**] > [**コントロールパネル**] > [**ハードウェアとサウンド**]（カテゴリ表示の場合）> [**サウンド**] の順に開き、[**録音**] タブを選択します。
2. [**Wave/AUX/ マイクミックス**]、または [**再生リダイレクト**] を右クリックし、表示されるメニューから [**規定のデバイスとして設定**] を選択し [**適用**] と [**OK**] をクリックして画面を閉じます。
3. [**スタート**] > [**すべてのプログラム**] > [**Creative**] > [**Sound BlasterAxx**] > [**Sound BlasterAxx コントロールパネル**] の順にクリックして、Sound BlasterAxx コントロールパネルを起動します。
4. [**ミキサー**] タブをクリックします。
5. **Wave/AUX/ マイクミックスを使用する場合：** [**Rec**] セクションで [**内蔵マイク**] や、外部マイクを接続した [**マイク**]、外部オーディオ再生機器を接続した [**AUX**] のミュートが外れていることを確認し、音量を適切なレベルに調整します。
6. **再生リダイレクトを使用する場合：** [**プレイバック**] セクションで外部マイクを接続した [**マイク**] のミュートが外れていることを確認し、音量を適切なレベルに調整します。
7. 録音に使用するアプリケーションのオーディオ設定画面で、上記ステップ 2 で選択した録音ソースを設定します。
8. 音声通話に使用するアプリケーションのオーディオ設定画面で、上記ステップ 2 で選択した録音ソースを設定します。
9. 録音と音声通話を開始します。

注：

・[Wave/AUX/ マイクミックス] の場合、ミックスされるそれぞれの音量は Sound BlasterAxx コントロールパネルの [ミキサー] 画面で、REC 項目内の [内蔵マイク]、[マイク] / [AUX] 項目のレベルで調節します。

・[再生リダイレクト] の場合、ミックスされるそれぞれの音量は Sound BlasterAxx コントロールパネルの [ミキサー] 画面で、プレイバック項目内の [内蔵マイク]、[マイク] / [AUX] 項目のレベルで調節します。

Mac の場合

1. [**システム環境設定**] > [**サウンド**] の順に開き、[**入力**] タブを選択します。
2. [**Sound BlasterAxx SBX 8: What You Hear**] を選択します。
3. [**アプリケーション**] > [**Creative**] > [**Sound BlasterAxx**] > [**Sound BlasterAxx コントロールパネル**] の順に開き、Sound BlasterAxx コントロールパネルを起動します。
4. [**ミキサー**] タブをクリックします。
5. [**プレイバック**] セクションで外部マイクを接続した [**マイク**] のミュートが外れていることを確認し、音量を適切なレベルに調整します。
6. 録音に使用するアプリケーションのオーディオ設定画面で、[**システム設定**] または [**What You Hear**] を設定します。
7. 音声通話に使用するアプリケーションのオーディオ設定画面で、[**システム設定**] または [**What You Hear**] を設定します。
8. 録音と音声通話を開始します。

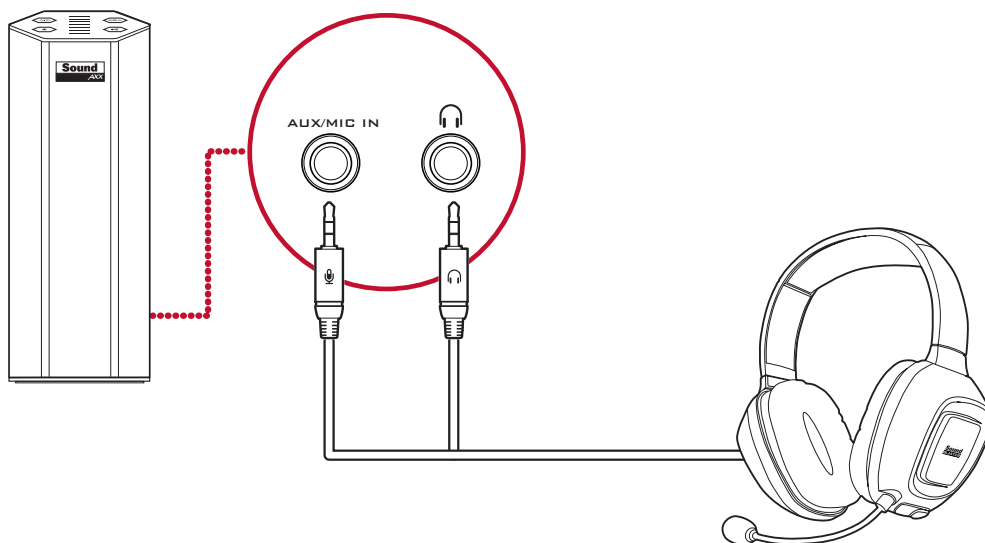
注：

ミックスされるそれぞれの音量は Sound BlasterAxx コントロールパネルの [ミキサー] 画面で、プレイバック項目内の [内蔵マイク]、[マイク] / [AUX] 項目のレベルで調節します。

注：

「Wave/AUX/ マイクミックス」および「再生リダイレクト」機能を使用する際は、それぞれの録音デバイスを規定のデバイスとして設定して、使用するアプリケーションでも当該録音デバイスを選択する必要があります。「Wave/AUX/ マイクミックス」および「再生リダイレクト」機能は、各設定、入力ソースの種類や再生されるソース、プロファイル等の組み合わせによっては「利用できない場合」や「適切に利用できない場合」がございます。なお、これらの機能はお客様の利用環境等により、設定等が大きく異なる場合があるため、個別の各設定値等に関するサポートはできません。

ヘッドホンまたはヘッドセットを接続する

Sound BlasterAxx 背面のヘッドホン出力端子と AUX 入力 / マイク入力端子を使用してヘッドホンまたはヘッドセットを接続できます。ヘッドホンまたはヘッドセットが接続されると、Sound BlasterAxx のスピーカー出力は自動的にミュートになりますので、プライベートリスニングなどに最適です。

トラブルシューティングとサポート

本章では、お使いの Sound BlasterAxx のインストールや使用中に発生する問題に対する解決方法を紹介しています。

Sound BlasterAxx SBX 8 の電源が入らない。

Sound BlasterAxx は USB ケーブルを使用してパソコン /Mac に接続、または USB パワーアダプター（別売）を使用してコンセントからの給電で動作するよう設計されています。

USB ケーブルを使用して接続している場合、接続されたパソコン /Mac が製品を適切に認識していることを確認してください。認識されない場合は、この問題が解決されるまで、次の手順を順番に実行してください。

i 本製品およびパソコン /Mac の両方で USB ケーブルを接続し直してください。

ii USB ケーブルが損傷している可能性がありますので、正常な USB ケーブルに交換してください。

iii お使いのコンピュータの USB ポートが無効になっている、または損傷、あるいは USB ポートのドライバをアップデートする必要があるかもしれません。コンピュータのハードウェアのデバイスマネージャで、USB ポートの動作状態を確認してください。USB ポートを有効にするか、ドライバをアップデートしてください。

問題が解決しない場合は、別の USB ポートに Sound BlasterAxx を接続してください。

USB パワーアダプターで接続されている場合は、すべてのケーブルが確実に接続され、電源コンセントに通電されていることを確認してください。

ヘッドホンから音が聞こえない。

次の項目を確認してください。

- ヘッドホンが正しくヘッドホン端子に接続されているかどうか。
- Sound BlasterAxx コントロールパネルの [**スピーカー / ヘッドホン**] 画面で [**ヘッドホン**] が出力デバイスとして正しく認識されているかどうか。

Sound BlasterAxx からオーディオが出力されない。

次の項目を確認してください。

ヘッドホンが Sound BlasterAxx に接続されていないかどうか。ヘッドホンが接続されていると、スピーカーは自動的にミュートになります。

次の項目について Sound BlasterAxx の音量を確認してください。

- タッチコントロールパネルのスピーカーミュート LED が赤く点灯していないかどうか。
- タッチコントロールパネルのマスターボリュームスライダーが適切なレベルに設定されているかどうか。
- Sound BlasterAxx コントロールパネルのマスターボリュームが適切なレベルに設定され、ミュートされていないかどうか。
- Sound BlasterAxx コントロールパネルの [**ミキサー**] 画面で適切なチャンネルのレベルが 0 になっていないかどうか。

内蔵マイクを使って録音できない。

次の項目を確認してください。

- タッチコントロールパネルのマイクミュート LED が赤く点灯していないかどうか。
- Sound BlasterAxx コントロールパネルの [**ミキサー**] 画面で [REC] 項目内 [**内蔵マイク**] の録音レベルが適切なレベルに設定され、ミュートされていないかどうか。
- Windows パソコンの場合、[**スタート**] > [**コントロールパネル**] > [**ハードウェアとサウンド**] （カテゴリ表示の場合） > [**サウンド**] > [**録音**] タブの順に開き、[**内蔵マイク**] が規定の録音デバイスとして設定されているかどうか。
  また録音用アプリケーションでオーディオ設定が可能な場合には、上記と同様に [**内蔵マイク**] を選択してください。
- Mac OS の場合、[**システム環境設定**] > [**サウンド**] > [**入力**] タブで、[**Internal Mic**] が選択されているかどうか。
  また録音用アプリケーションでオーディオ設定が可能な場合には、[**システム設定**] または [**Internal Mic**] を選択してください。

パソコンや Mac 内で再生している音楽と内蔵マイクの両方をミックスして録音できない

Sound BlasterAxx は[**Wave/AUX/ マイクミックス**]（Windows のみ）および[**再生リダイレクト**]機能が搭載されているおり、パソコンや Mac で再生している音楽と内蔵マイクの両方を合わせて録音することができます。

次の項目を確認してください。

i　Sound BlasterAxx コントロールパネルを開き、[**ミキサー**]画面を開きます。

ii　マイクがミュートになっていないことを確認してください。[**Wave/AUX/ マイクミックス**]の場合、[**REC**]内の項目が有効になります。例えば、内蔵マイクを使用している場合、[**内蔵マイク**]の横の ボタンをクリックしてミュートを解除します。ヘッドセットなど外部マイクを使用している場合は、[**マイク**]オプションのミュートを解除してください。[**再生リダイレクト**]を使用する場合は、[**プレイバック**]内の項目をそれぞれ設定してください。

次に、システムのサウンド入力デバイスとして[**Wave/AUX/ マイクミックス**]または[**再生リダイレクト**]が選択されていることを確認してください。

Windows の場合

i　[**コントロールパネル**] > [**ハードウェアとサウンド**]（カテゴリ表示の場合） > [**サウンド**] > [**録音**]タブの順に開きます。

ii　ご自分の音声をモニターせずにパソコン内のサウンドとミックスを行う場合は、[**Wave/AUX/ マイクミックス**]を選択、外部マイク等を使用してパソコン内のサウンドとミックスする場合、[**再生リダイレクト**]が選択されている必要があります。

Mac の場合

i　[**システム環境設定**] を開き、[**サウンド**] をクリックします。

ii　[**入力**] タブをクリックし、[**What You Hear**] が入力デバイスとして選択されていることを確認します。

また録音アプリケーションによっては、これらのシステム設定ではなく、アプリケーション独自の入力設定を持っている物もあります。その場合、アプリケーションのオーディオ設定などで、上記と同じ入力を録音デバイスとして設定してください。詳しくはお使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

Sound BlasterAxx 本体上で On/Off できる SBX Pro Studio 機能の設定は?

Sound BlasterAxx 本体内に保存される SBX Pro Studio 機能の設定は、Sound BlasterAxx コントロールパネルでプロファイルを選ぶと同時にリアルタイムで切り替わります。

Sound BlasterAxx コントロールパネル終了時の設定が最終的に自動保存されますので、Sound BlasterAxx コントロールパネルでご希望のプリセットを選んでから終了してください。

その他のサポート

上記以外の問題が発生した、あるいは Sound BlasterAxx SBX 8 または他の Creative 製品に関するお問い合わせについては、**http://jp.creative.com/support** のナレッジベースにて詳細をご覧ください。また詳細な情報が必要な場合は、上記サイトのカスタマーサポートへのお問い合わせページに設置しているメールフォームよりカスタマーサポートまでメールでご連絡ください。

製品仕様

静電式タッチコントロールパネルユーザーインターフェース

- LED バックライト付きマスターボリュームスライダー
- LED バックライト付き[Noise Reduction]オン / オフボタン
- LED バックライト付き[SBX Pro Studio]オン / オフボタン
- LED バックライト付き[スピーカーミュート]ボタン
- LED バックライト付き[マイクミュート]ボタン
- 白色 LED は電源オンを示します。

入力系統

- USB 2.0
- Aux 入力またはマイク入力用 3.50 mm（1/8 インチ）ステレオ端子× 1
- 内蔵マイク：高品質マイク

出力系統

- アンプスピーカー
- ヘッドホン再生用 3.50 mm（1/8 インチ）ステレオ端子× 1

本体寸法、重量

寸法（幅 x 奥行 x 高さ）：

- 約 64.4 x 57 x 166.1 mm

重量：

- 約 0.3kg

技術仕様

Creative USB パワーアダプター（別売）：DC 5V/1A

安全性および規制に関する情報

次の項には、各国の注意が記載されています。

Caution:
This product is intended for use with FCC/CE certified computer equipment. Please check the equipment operating/ installation manual and/or the equipment manufacturer to verify/confirm if your equipment is suitable prior to the installation or use of the product.

Notice for the USA

Federal Communication Commission (FCC) Interference Statement

FCC PART 15: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution:
To comply with the limits of the Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules, this device must be installed with computer equipment certified to comply with Class B limits.

All cables used to connect to the computer and peripherals must be shielded and grounded. Operation with non-certified computers or non-shielded cables may result in interference to radio or television reception.

MODIFICATION: Any changes or modifications not expressly approved by the grantee of this device could void the user's authority to operate the device.

Federal Communication Commission (FCC) Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

California Proposition 65 Statement

Warning:

Handling this product may expose you to chemicals known to the State of California to cause cancer and birth defects or other reproductive harm. ***Wash hands after handling.***

EXPLANATORY NOTE: California Safe Drinking Water and Toxic Enforcement Act of 1986 (Proposition 65) requires special product labeling for products containing certain chemicals known to the State of

California to cause cancer, birth defects or other reproductive harm. Creative has chosen to provide a warning based on its knowledge about the presence of one or more listed chemicals without attempting to evaluate the lvel of exposure. With Creative's products, the exposure may be below the Proposition 65 level of concern, or could even be zero. However, out of an abundance of caution, Creative has elected to place the Proposition 65 warning on its products.

Notice for Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003 and RSS-210.

Cet appareil numérique de classe B est conforme aux normes canadiennes NMB-003 et CNR-210.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard.

Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. this device must accept any interference received, including interference that may cause undesirable operation.

Cet appareil est conforme avec Industrie Canada RSS standard exempts de licence.

Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes :

1. Le matériel ne peut étre source D'interférences et
2. Doit accepter toutes les interférences reques, Y compris celles pouvant provoquer un fonctionnement indésirable.

CANADIAN CLASS B STATEMENT: This digital device does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus as set out in the interference-causing equipment standard entitled "Digital Apparatus," ICES-003 of the Department of Communications.

Cet appareil numerique respecte les limites de bruits radioelectriques applicables aux appareils numeriques de Classe B prescrites dans la norme sur le materiel brouilleur: "Appareils Numeriques," NMB-003 edictee par le ministre des Communications.

MODIFICATION: Any changes or modifications not expressly approved by the grantee of this device could void the user's authority to operate the device.

Toute modification non approuvée explicitement par le fournisseur de licence de l'appareil peut entraîner l'annulation du droit de l'utilisateur à utiliser l'appareil.

Notice for Australia / New Zealand

Complies with the requirements of the ACMA Radiocommunications (Electromagnetic Compatibility) Standard 2008.

Ukraine RoHS Statement

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

European Compliance

This product conforms to the following:

RoHS Directive 2011/65/EU.

EMC Directive 2004/108/EC.

Mains operated products for the European market comply with Low Voltage Directive 2006/95/EC and Commission Regulation(s) Implementing Directive 2009/125/EC.

Communication / RF wireless products for the European market comply with R&TTE Directive 1999/5/EC.

Caution:

To comply with the Europe CE requirement, this device must be installed with CE certified computer equipment which meet with Class B lmits.

All cables used to connect this device must be shielded, grounded and no longer than 3m in length. Operation with non-certified computers or incorrect cables may result in interference to other devices or undesired effects to the product.

MODIFICATION: Any changes or modifications not expressly approved by Creative Technology Limited or one of its affliated companies could void the user's warranty and guarantee rights.

Vietnam RoHS Statement

This product is in compliance with Circular 30/2011/TTBCT of the Ministry of Trade of the Socialist Republic of Vietnam ("Circular"), it does not contain the following substances in concentration greater than the Maximum Limit value as specified in the Circular.

Substance	Maximum Limit (ppm) 1, 2
lead	1000
mercury	1000
cadmium	1000
hexavalent chromium	1000
polybrominated biphenyls (PBB)	1000
polybrominated diphenyl ethers (PBDE)	1000

[1] Maximum Limit does not apply to applications exempted from the Circular.

[2] Maximum Limit refers to concentration by weight in homogeneous materials.

Notice for Korea

B급 기기

(가정용 방송통신기자재)

이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Notice for Singapore

Complies with
IDA Standards
DB00148

安全性に関する情報

製品を安全にご使用いただき、感電、漏電、損傷、火災、聴力障害、またはその他の危険を避けるため、下記の情報をよくお読みください。不適切な取扱いが原因とみなされる場合、製品の保証が無効になる場合があります。詳細については、付属の保証書をお読みください。

- ヘッドホン、オーディオアダプター等をお客様ご自身で修理、分解しないでください。
  修理に関しては、製品を購入された国／地域の認定修理代理店にご連絡ください。
- ご使用の製品を 0℃ - 45℃の範囲を超える温度下に置かないでください。
- 製品に穴を開けたり、壊したり、火中に投じないでください。
- 製品を強い磁気のそばに置かないでください。
- 製品に強い衝撃を与えないでください。
- 製品を水や湿気のある場所に置かないでください。
  製品が耐湿製品である場合は、製品を水の中に入れたり、雨に濡れたりしないようにしてください。

ソフトウェア使用許諾および著作権

本書の内容は、予告なく変更されることがあり、Creative Technology Ltd. による責務を表すものではありません。この説明書に含まれる全ての部分は、複写および録音を含む電子的または機械的のいずれの方法を問わず、いかなる目的においても、Creative Technology Ltd. の書面による許可なく複製および伝送することはできません。

Copyright © 2012 Creative Technology Ltd. All rights reserved. Creative、Creative ロ ゴ、Sound BlasterAxx、Sound BlasterAxx ロゴ、SBX Pro Studio、SBX Pro Studio ロゴ、Recon3D および CrystalVoice は Creative Technology Ltd. の米国、またはその他の国々における商標、または登録商標です。*Bluetooth*® ワードマークとロゴは *Bluetooth* SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Creative Technology Ltd はライセンスに基づきこれらのマークを使用しています。その他の商標および商号はそれぞれの所有者に帰属します。仕様は事前の予告なく変更される場合があります。本製品の使用は、限定ハードウェア保証の対象となります。実際の商品および内容物は掲載写真と多少異なる場合があります。同梱のソフトウェアとソフトウェアを同梱しているハードウェアを別々に使用することはできません。ソフトウェアを使用する前に、同梱の使用許諾契約書に同意する必要があります。

第 1.0 版

2012 年 6 月